

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年前期	1	2	選択 (C:教職「情報」は必修)
担当教員			
四宮 友貴			
添付ファイル			

講義概要	<p>インターネットの世界では、情報倫理の面において、従来のメディアとは異なる様々な問題が発生している。誰でも容易にHPを開設出来、誰でも容易にアクセス出来ることがその原因である。本講義では、HPのコンテンツに関する倫理問題を中心に、インターネットを巡る倫理全般を包括的に取り扱う。各項目を事例に即し、具体的に解説する。毎回内容に関してクイズ形式の問いに答える事で、理解を促進する。インターネットに対する自律的な倫理観を形成することを目標とする。</p>
授業計画	<p>1 全体概要と前提知識 情報学部カリキュラムにおける本科目の位置付けについて説明する。 講義内容の案内および授業方針、インターネットやホームページ (HP) の仕組み、緊急に行うべきウイルス対策等を紹介する。これまで目撃した情報倫理違反行為についてAL②を行う。 準備学習：情報倫理とは何か、について予めインターネットで調べる 課題：これまで情報倫理に違反した大きな事件にはどんなものがあったか、報道などを調べる (AL④)。</p> <p>2 著作権の概略 ホームページを作成する際に最も陥りやすいのが著作権侵害である。著作権の概要を理解する。 著作権の概略についての授業内での様々な問いについて、AL①、AL②を行う。 準備学習：日本における著作権の枠組みについて、インターネットで調べる。 課題：インターネットを用いた著作権侵害の事例について、報道などを調べる (AL④)。</p> <p>3 文章、写真の著作権 転載と引用の違い等、他人の文章や写真を掲載する場合に必要な手続きや著作権侵害になる場合を概説する。 文章、写真の著作権についての授業内での様々な問いについて、AL①、AL②を行う。 準備学習：文章と写真の著作権の扱いについて、インターネットで調べる。 課題：文章または写真の著作権侵害事例で大きく報道されたものを調べ、何故侵害となったか調べる (AL④)。</p> <p>4 音楽、ビデオの著作権 音楽やビデオは製作関係者が多くだけに著作権の塊である。掲載したい場合の注意点を概説する。 音楽、ビデオの著作権についての授業内での様々な問いについて、AL①、AL②を行う。 準備学習：音楽とビデオの著作権の扱いについて、インターネットで調べる。 課題：音楽またはビデオの著作権侵害事例で大きく報道されたものを調べ、何故侵害となったか調べる (AL④)。</p> <p>5 ソフトウェアと著作権、特許権 ソフトウェアの場合は著作権の他、特許権も持っている場合がある。侵害にならない注意点を概説する。 ソフトウェアの著作権についての授業内での様々な問いについて、AL①、AL②を行う。 準備学習：ソフトウェアの著作権の扱いについて、インターネットで調べる。 課題：ソフトウェアの著作権侵害事例で大きく報道されたものを調べ、何故侵害となったか調べる (AL④)。</p> <p>6 ドメイン名と商標法、不正競争防止法 近年、ドメイン名取得に伴う商標権侵害、不正競争防止法違反事件が多発している。紛争事例を参考に、注意点を理解する。授業で紹介する商標について争われた事件例が、どのような結末になったかについて、AL②を行う。 準備学習：商標、ドメイン名、不正競争について、概略をインターネットで調べておく。 課題：授業で紹介した事例以外に、商標で争われた事例について調べ、争点と決着点についてまとめる (AL④)。</p> <p>7 名誉毀損罪、脅迫罪等 掲示板等の匿名発言で名誉毀損や脅迫的な発言を行い、処罰される若者が増えている。どのような場合に罪に該当するかを確認する。これまで、掲示板での争いを見た、まきこまれた事があるかについて、AL②を行う。 準備学習：名誉毀損と侮辱の違い、ネット書き込みで犯罪になるのはどのような場合かを調べておく。 課題：授業で紹介された事例以外に、ネットでの名誉毀損等、刑事事件の著名な事例について概略を調べる (AL④)。</p> <p>8 個人情報保護 他人の個人情報をHP に掲載すると多くの場合、罰せられる。個人情報とは何か、どのような情報が個人情報に該当するかを解説する。ネットで公開するのに抵抗を感じる個人情報の程度について、AL②を行う。 準備学習：個人情報とは何か、個人情報保護法の概略について、インターネットで調べる。 課題：授業で紹介された事例以外に、ネットでの個人情報侵害事件にどのようなものがあったか、また、自分が他人の個人情報を勝手に開示した事はなかったか、などについてまとめる (AL④)。</p>

	9	<p>ハッカー対策 不正アクセスの種類と仕組み、侵入者への罰則規定等を理解し、有効な防御策を紹介する。不正アクセスに関し、授業内で問われる様々な問題について、AL②を行う。 準備学習：不正アクセス、ハッキングについて、技術的にどのようなものであるか調べておく。 課題：授業内容や補足的にネットなどで調べ、個人として出来るハッキング対策についてまとめる (AL④)。</p>
	10	<p>ウイルス対策 コンピュータウイルスの種類と仕組み、作成者、配布者への罰則規定等を理解し、有効な防御策を紹介する。コンピュータウイルスに関し、授業内で問われる様々な問題について、AL②を行う。 準備学習：コンピュータウイルスおよびその対策について、技術的にどのようなものであるか調べておく。 課題：授業内容や補足的にネットなどで調べ、個人として出来るウイルス対策についてまとめる (AL④)。</p>
	11	<p>ネットショッピングの注意点とトラブルへの対処法 オンラインで商品を購入する際に気をつけること、売買してはいけないものを理解する。また、架空請求が来た場合等のトラブルの対処法を紹介する。授業中に配布されるネットショッピングに関する小問について、AL②を行う。 準備学習：ネットショッピングで、どのような事に注意すべきかを調べておく。 課題：架空請求が来たり、誤ってクレジットカード番号を送信してしまった時に取るべき対処法をまとめる (AL④)。</p>
	12	<p>メールのマナー メールを送る際の様々なエチケットを確認する。普段、ラインなどを使っていて、倫理的に気になる事があったかについて、AL②を行う。 準備学習：ラインなど、メールのマナーについて、どのような事が言われているか調べておく。 課題：メールによって、事件に発展した事例があったか、授業で紹介した以外の事例をネットで調べる (AL④)。</p>
	13	<p>インターネット事件の実例から～威力業務妨害罪等～ 掲示板に問題ある書き込みをして逮捕された事例を多数紹介、「この程度の書き込みなら大丈夫」と思っていた犯人が多い。授業で紹介される数々の事例について、結末はどうなったかについて、AL②を行う。 準備学習：インターネット掲示板での刑事事件例について、これまでどのようなものがあったか調べておく。 課題：予告inというサイトにアクセスし、報告されている事例を調べて見る (AL④)。</p>
	14	<p>インターネット事件の実例から～名誉毀損罪等～ 掲示板に問題ある書き込みをして告発された事例を多数紹介、名誉毀損罪が成立した書き込み、写真投稿の例から注意点を考える。授業で紹介される数々の事例について、結末はどうなったかについて、AL②を行う。 準備学習：インターネット掲示板での名誉毀損例について、これまでどのようなものがあったか調べておく。 課題：自分が名誉毀損にあった場合を想定し、取るべき対策についてまとめておく (AL④)。</p>
	15	<p>重要事項の整理と実例演習 本講義で取り上げた重要事項を整理、確認し、具体的な事例についての対応方法を練習する。本講義で扱った内容について、特に今後も調べて見たい点について、AL②を行う。 準備学習：14回目までの授業で扱った内容の要点をまとめておく。 課題：自分ももっとも興味を持ったトピックについて、インターネットなどでさらに知識を深めていく (AL④)。</p>
授業形態	<p>講義 アクティブラーニング：①:4回, ②:15回, ③:0回, ④:15回, ⑤:0回, ⑥:0回</p>	
達成目標	<p>a) 著作権の概要と、侵害にならないコンテンツ作成方法を理解している b) 名誉毀損罪や脅迫罪、個人情報保護法違反、商標法違反等になる場合を理解している c) ハッキングやウイルスに対する、基本的な防御方法を理解している d) ネットショッピングの注意事項、ネットトラブルへの対処方法を理解している</p>	
評価方法・フィードバック	<p>期末テスト100%。原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。</p>	
評価基準	<p>項目 a)～d) を授業で扱った分量に応じた配分でテスト問題に出し、上記比率に応じて点数化したうえで加算する。この総合点に基づき以下の判定をする。 1) 「秀」：総合点90点以上 2) 「優」：総合点80点～89点 3) 「良」：総合点70点～79点 4) 「可」：総合点60点～69点 5) 「不可」：総合点59点以下</p>	
教科書・参考書	<p>なし：内容が多岐に渡るため適当な教科書がない。講義はスライドを用いる。</p>	
履修条件	<p>なし</p>	
履修上の注意	<p>なし</p>	
準備学習と課題の内容	<p>・授業計画中に記載されている「準備学習」の内容（1時間）を必ず行うこと。 ・授業計画中に記載されている「課題」の内容（2時間）を必ず行うこと。</p>	
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	<p>知識・理解:50%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:10%, 技能・表現:0%</p>	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		